

郷土の偉人

ジャーナリスト・実業家
辞書編集や新聞、売薬など多方面で先駆的活躍



岸田吟香

岸田吟香は天保4年に久米北条郡中井和谷村（現在の久米郡美咲町柝原）で父、秀次郎、母、小芳の5男3女の長男として生まれる。幕末から明治期にかけ、この文明開化の時代を前向きに生きた吟香は、岡山県が生んだ業界の先駆者である。明治38年に72歳で亡くなるまで、いろいろな面で活躍しており、その事業も今の時代を先取りしたものといっても過言ではない。多くの業績があり、和英・英和辞書の編集・印刷、日本で最初の邦字新聞の発行、目録「精銚水」の製造・販売、盲啞学校の創設など、激動の時代を走りぬけた先駆者であり、この他にも多くの業績を残している偉人である。

なんと、たまごかけごはんを
広めた人物が存在していた
その人とは
明治時代に活躍した
ジャーナリスト“岸田吟香”



たまごかけごはんの店「食堂かめっち。」

平成20年、中央運動公園内の黄福（こうふく）広場にたまごかけごはんの店「食堂かめっち。」がオープン。以来、週末ともなれば遠方からも人が訪れ、行列ができるほど人気の店となりました。卵とご飯のお代わりは何回でも自由。毎日近くの養鶏場から届けられる産みたて卵、「つなぐ棚田遺産」に選ばれた棚田で栽培された風味豊かな米、オリジナルのタレに使われている醤油など、素材はすべて町内の素材が使用されています。

美咲町応援大使



美咲町出身の
パティシエ

鈴鹿 成年さん

美咲町内で和菓子屋を営む父の背中憧れ、高校卒業後平成21年に株式会社シュゼット入社。令和5年1月にフランスで開催された世界最高峰の洋菓子大会「第18回クー・デュ・モンド・ドゥ・ラ・パティスリー」に挑み、リーダーを務める日本チームが、世界第1位に輝く。



美咲町出身の
アイデア料理研究家

mako さん

栄養士、フードコーディネーター、野菜ソムリエの資格を持つ。3時間で30品以上の作り置きを完成させる「超速ワザ」が注目され、「沸騰ワード10」や「ヒルナンデス！」などのテレビ番組に出演。TV・雑誌・Web・ラジオなど各種メディアでのレシピ紹介や、食料品メーカーのレシピ開発も行う。レシピ本は累計40万部突破している。

ふるさと納税

美咲町の特産品を取りそろえています。みなさまからの応援をよろしくお願いします。



企業版ふるさと納税

美咲町の地方創生に関連する事業への活用のため企業のみなさまからの寄附を募集しています。



美咲町の好きなところ・良いところ



子どもたちをやさしく見守ってくれるまち。都会と違って心が穏やかになる。



町民同士の仲が良く、何かやろうとするとすぐ、集まり、協力してくれるところ。



居心地の良さ、田舎ならではの雰囲気が好き。



自然が豊かで、ゴミが少なくまちがきれい。人も温かく住みやすい。



自然豊かで親しみやすい人が多く、まちづくりに積極的に取り組むまちだと思う。



高齢者に優しく、近くに病院やお店もあり、災害が少ない、自然豊かなまち。



人がサバサバしているけど温かいところ。四季折々の景色が楽しめるところ。



子育てがしやすい！温かい人がたくさん！補助金がありがたい！



吉井川沿いの風景、今は渡り鳥が泳いでいてどこから、どうやって来るんだろうと想像している。



町民の温かさがうれしい。若い人を応援したい、美しく、たくましく、にこやかに人生を過ごしたい。



大井和の春夏秋冬。先祖が何年もかけて築いたこの美しい風景を未来永劫願います。



月の輪古墳発掘で地域文化が息づく、ほどよい田舎まちで、住みよいまち。



自然が豊かなところ。じいじばあばと道具を使って耕したり草を刈ったり貴重な体験。



近所の方と自然とあいさつができて子どもたちのこともかわいがってもらえる温かい地域性。



緑いっぱい自然が大好き。お散歩の途中に季節のお花や葉っぱを見つけよう。



困っていたらみんなが助けてくれる。優しい心がたくさんあるところ。



それぞれの地域が明るく元気で活発に活動しているところ。お米がおいしい。卵もおいしい。



自然豊かで人が温かい。野菜と卵がとってもおいしい！地域のつながりもあり、住みやすい。



人の温かさ、自然の美しさに日々励まされています。



朝夕の自然いっぱいまの匂いが好き！人が心穏やかですぐ仲良くなれる♪